

平成31年度（平成30年度事業分）

教育委員会の権限に属する事務の
管理及び執行の状況にかかる点検
及び評価に関する報告書

令和元年9月

島原市教育委員会

も く じ

1 はじめに	1
(1) 趣旨	
(2) 点検及び評価の対象	
(3) 点検及び評価の方法	
2 学識経験者の所見	2～5
・前島原市青少年健全育成連絡協議会 副会長 豊田 芳明	
・前島原市PTA連合会 会長 前田 幸栄	
・元小学校教諭 村田 淳子	
3 点検・評価結果	
(1) 教育委員会の活動状況	6～9
・教育委員会会議の運営・情報発信	
・教育委員会と事務局との連携	
・教育委員会と市長との連携	
・学校等教育機関に対する支援及び連携	
・教育委員の自己研鑽	
(2) 教育委員会が管理・執行する事務	10～13
・学校教育、社会教育及びスポーツに関する一般方針を定めること	
・学校・公民館及び図書館の設置及び廃止の決定に関すること	
・教育財産の取得を市長に申し出ること	
・県費負担教職員の任免その他進退にかかる内申に関すること	
・県費負担教職員のサービスの監督に関すること	
・教育委員会の任命にかかる職員(県費負担教職員を除く)の人事に関すること	
・学校・公民館及び図書館の敷地を選定すること	
・学校その他教育機関の工事の計画を策定すること	
・教育委員会規則等の制定又は改廃を行うこと	
・教育予算その他議会の議決を経るべき議案の作成について意見を申し出ること	
・教育委員会の所管に属する各種委員会・審議会等の委員の任命又は委嘱に関すること	
・教育関係職員の研修の一般方針を定めること	
・教科用図書の採択に関すること	
・学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し又はこれを変更すること	
・教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うこと	
(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	14～34
・学校教育に関すること	
・社会教育に関すること	
・スポーツ推進に関すること	
・教育環境に関すること	

1 はじめに

(1)趣 旨

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、毎年、教育に関して学識経験者を有する者の知見の活用を図って、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することとなっています。

本報告書は、島原市の教育行政の推進を図るため、平成29年3月に策定した第2期島原市教育振興基本計画に掲げた主な施策の進捗状況を明らかにするとともに、教育委員会の活動状況について点検し、評価を行ったものです。

(2)点検及び評価の対象

点検及び評価は、島原市教育委員会が平成30年度に取り組んだ活動及び事務を「教育委員会の活動状況」、「教育委員会が管理・執行する事務」及び「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」の3項目に大別して行っています。

(3)点検及び評価の方法

点検及び評価にあたっては、第2期島原市教育振興基本計画の施策体系に沿い、その主な施策と具体的な取り組みについて、各事業の進捗状況を明らかにするとともに実施結果について評価を行っています。

なお、点検及び評価に客観性を確保するため、教育に関して高い知見を有する3名の学識経験の所見を付しております。

令和元年9月

島原市教育委員会

2 学識経験者の所見

○ 所見1

<評価できる点>

- 1 教育委員会は各学校長と連携をとり、学校現場における様々な課題の解決に向けた方策について、適時指導助言を行っている点は評価できる。
- 2 授業中、個別に支援が必要な児童生徒に対し、学習支援員を活用しきめ細やかな指導をしていることは評価できる。
- 3 児童生徒の悩みに対応するため、全中学校に「心の教育相談員」、前小中学校にスクールカウンセラーを配置しているのは評価できる。
- 4 スクールキッズ、放課後子ども学習室は自主学習の習慣を身に付けさせるとともに子どもの居場所づくりという点で評価できる。
- 5 女性学級や高齢者学級の充実は評価できる。
- 6 家庭教育学級のファシリテーターの養成は、長崎ファミリープログラムの活性化という点でも評価できる。

<改善を要する点（要望）>

- 1 通学合宿の参加人数が減少しているように思うが、活性化の方策が必要だと思う。
- 2 少年センターの相談件数が10件ということだが、もっと相談があっても良いのではないか。もっと気軽に相談できるよう考えてもらいたい。
- 3 いじめの認知件数の調査は実施されているが、虐待についての調査はどうなっているのか知りたい。
- 4 「しまばら家庭教育三、三、七拍子」を各家庭や地域で活用してもらえよう、もっと啓発活動が必要だと思う。

令和元年8月20日
豊田 芳明

○ 所見 2

<評価できる点>

- 1 昨年、学校と地域を交えた防災訓練が実施されたが、地域全体の防災意識を向上させる意味で大変有意義な取組であったと思う。今後も地域と一体となって災害に備えてもらいたい。
- 2 近年、各学校の生徒指導やいじめ対策の充実により、生徒指導面での問題行動は減少しているように思えます。今後も色々な方面からの対策を行ってもらいたい。
- 3 地域の合同運動会などは、地域との関係が深まるばかりか、学校の行事の整理や学校現場の多忙の解消につながるものと評価できる。
- 4 文化芸術は多感な生徒の心の育成のために必要なものと思います。とても良い取組みと考えます。今後も様々な形で充実させてほしいと思います。
- 5 J F A ころのプロジェクト「夢の教室」は夢を持つことの大切さを学ぶ、とても良い機会であったと評価できる。
- 6 色々なスポーツ大会を推進・開催し、交流人口の拡大による活性化に積極的に取り組んでいることが評価できる。
- 7 授業の改善やきめ細やかな指導など、色々な取組みで生徒たちの学力が向上している結果が出ていることは評価できる。

<改善を要する点（要望）>

- 1 特別の教科「道徳」がスタートするが、教科としての指導・充実とともに、これまでどおり地域で子供を育てるという視点も大切にしながら地域と学校の連携を深めてほしい。
- 2 SNS などの取り扱いなどで新たな問題が見えてきているので、市 P T A 連合会の取組みとも連動しながら、個人家庭の意識向上の為に、市の支援をいただきたい。
- 3 島原市の有能な人材確保の観点から、奨学金制度のさらなる充実を望みます。
- 4 しまばら家庭教育、三・三・七拍子の啓発の方法を市 P T A 連合会と協力して考え、各家庭でも確実に実践できるようにしてほしい。
- 5 島原市ココロねっこ運動についても啓発をしてほしい。子供たちの心の成長に確実につながるようにしてほしい。
- 6 「学校司書」を活用して、不読者率が 1 % 以下を達成したことは、とてもすばらしい。子供たちの心のよりよい成長のため、今後もより一層、読書活動に力を入れていただきたい。

令和元年 8 月 2 0 日

前田 幸栄

○ 所見 3

<評価できる点>

- 1 教育委員会会議の開催や運営をはじめ、事務局、市長、各学校や関係諸機関との連携を図りながら、より良い教育行政を目指して御尽力されていることに、改めて感謝と敬意を表したい。
- 2 児童・生徒の確かな学力の育成のために、少人数指導やTT（ティームティーチング）の実施、学習支援員による指導の充実は、欠かせない取組だと思う。今後も、各学校の児童・生徒の実態に応じて継続して行ってほしい。
- 3 自然災害が多発している今日、防災教育の推進は大切であり、「自分の命は自分で守る」とともに「人の命を大切にする」という意識を高める上でも重要であると思う。また、「道徳教育」「平和学習」「人権学習」など全てに共通することは、「生命尊重の心」や「思いやりの心」だと思う。「生命・きずな・感謝の心」の精神を生かした様々な取組を実施されていることは大変素晴らしいことであり、今後もあらゆる教育場面において、計画的・継続的にその精神を育てて行ってほしいと思う。
- 4 家庭教育学級を進行できるファシリテーターの増員に伴い、子育てに不安や悩みを抱える人が学び合えるような会の開催が増えることで子育て支援の更なる充実が期待できる。また、「しまばら家庭教育三・三・七拍子！」について、様々な周知と実践の奨励をされている。今後もますます各家庭に浸透するよう継続した奨励をお願いしたい。
- 5 読書活動の推進において、前年度までの「貸出冊数の平均」による評価から「不読者率」で評価してあること、そして、目標の1%以下を達成できていることは素晴らしい。読書は、豊かな心を育む上でも、学力向上のためにも大変大切であると思うので、今後も「学校司書」の活用を図りながら、児童・生徒により良い読書習慣が身に付くよう期待したい。
- 6 「職場体験学習」や「福祉体験学習」など、地域の教育力を生かした学習の推進は、キャリア教育・福祉教育・ふるさと教育の充実において、とても良い取組だと思う。今後も、机上の学習だけでなく、人との関わりや体験によって学ぶ機会を多く保障してほしい。

<改善を要する点（要望）>

- 1 学校教育は、今後、社会教育や各種専門機関との更なる「連携」「協働」と「分担」が必須だと考える。

▽生徒指導の充実の点から

児童・生徒が抱える問題が多様化している現在、学校だけではその対応や解決が難しい状況も見受けられる。児童・生徒の健やかな成長のためにも、また、教職員の精神的・時間的なサポートの面からも、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門職が常勤または非常勤として関わるシステムが更に充実し、日常的に有効活用されることを期待する。

▽地域の教育力を生かす長期休業の有効利用の点から

地域には様々な分野で優れた才能や高い指導力をもった方が多くおられる。「教育支援人材一覧表」の有効活用) 学校では、そのような方にゲストティーチャーとして授業の支援をしていただいているが、長期休業中(特に夏休み)に、学校のカリキュラムの一端を担ってもらえるような活動の実施ができないだろうか。例えば、読書感想画の指導(図工)や地域学習(生活科・社会科)、調理実習(家庭科)などが考えられる。少子化、核家族化が進む現在、視野を広げ、人との関わりを体験的に学ぶ場も増えるし、昼間、仕事などで大人の目が届かない部分もカバーすることができて、児童・生徒の健全育成にもつながると思う。

令和元年8月20日

村田 淳子

1 教育委員会の活動状況

大項目 教育委員会会議の運営・情報発信		
中項目	小項目	点検・評価
(1)教育委員会会議の開催回数等	①教育委員会会議の開催回数	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議は、原則として毎月初旬に定例会を、また必要に応じて臨時会を開催し、議案及び懸案事項などの審議を行っている。平成30年度は、定例会を12回開催した。
	②教育委員会会議での審議状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第25条及び「島原市教育委員会の権限事務の一部を教育長に委任し又は臨時に代理させる規則」第2条の規定に基づき、平成30年度は、合計で48件の議案について審議を行った。 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 学校教育、社会教育及びスポーツに関する一般方針を定めること・・・・・・・・・・・・・・・・・・4件 ・島原市公共施設等総合管理計画に基づき、教育委員会が所管する施設の、今後の維持管理の方向性を具体化する個別施設計画案を提案し、原案可決された。 ・「長崎県運動部活動の在り方に関するガイドライン」を参考にして、「島原市運動部活動の在り方に関する方針」案を提案し、一部修正可決された。さらにその一部改正につき、原案可決された。 ・第2期島原市教育振興基本計画に基づき、学校ICT教育機器の計画的整備を図るために、島原市学校ICT環境整備計画(案)を提案し、原案可決された。 (イ) 県費負担教職員の任免その他進退にかかる内申に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件 平成31年度の島原市立小中学校教職員の人事異動の内申について提案し、原案可決された。 (ウ) 教育委員会規則等の制定又は改廃を行うこと 10件 所要の法整備を図るため、規則の制定案2件、規則の一部改正案4件、要綱・規程の制定及び一部改正案など4件を提案し、1件は修正可決。その他は、全て原案可決された。 (エ) 教育委員会の所管に属する各種委員会、審議会等の委員を任命又は委嘱すること・・・・・・・・・・19件 奨学生審議委員会委員、社会教育委員、スポーツ推進委員、少年センター少年補導委員等の委嘱、小中学校学校医の解職など19件について提案し、1件は修正可決。その他は、全て原案可決された。 (オ) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の作成について意見を申し出ること・・・・・・・・・・8件

1 教育委員会の活動状況

中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度一般会計当初予算における教育関係予算の概要及び市長に提出する重点要望事項について提案し、原案可決された。 ・議会の議決を経るべき議案として平成30年度補正予算案5件及び平成31年度当初予算案の教育委員会所管部分について提案し、全て原案承認された。 ・議会の議決を経るべき議案として、公の施設（島原図書館・有明図書館）の指定管理者の指定について1件を提案し、原案承認された。 <p>(カ)教科用図書の採択に関すること・・・・・・・・・・2件 平成31年度使用島原市立小学校教科書及び中学校教科書（特別の教科道徳）採択について提案し、原案承認された。</p> <p>(キ)教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件 市民に信頼される教育行政の推進を図るとともに課題や取組の方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図るため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、教育委員会活動の点検及び評価をまとめた「平成30年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況にかかる点検及び評価」報告書を提案し、原案可決された。</p> <p>(ク)その他 「島原市教育委員会の権限事務の一部を教育長に委任し又は臨時に代理させる規則」第3条の委任事務の特例に基づくこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・3件 島原市教育委員会の権限事務の一部を教育長に委任された事務のうち、以下の案件については、教育長が重要と認め教育委員会に提案し、原案承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島原市奨学生の決定について ・ふるさとにもどってこんね奨学生の決定について ・平成30年度島原市教育委員会表彰について
	③教育委員会会議運営上の工夫等	<ul style="list-style-type: none"> ・議案等については、事前配付し、内容について周知することで委員会での審議の充実を図った。 ・各担当課による事業の実績・予定報告や付議案件の詳細説明などを行うとともに、教育課題などについて意見交換や協議を行い、今後の対応策等について共通理解を図った。

1 教育委員会の活動状況

中項目	小項目	点検・評価
(2)教育委員会会議の傍聴者の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議の開催日時等については、市のホームページへの掲載と市政記者クラブへの情報提供を行い周知に努めた。 ・開催日時等の市のホームページへの掲載については、開催日時の早い時期に告知し、また、議事等決定後は、市のホームページのトップページに掲載し事前周知を図った。今後もホームページ等を利用し、随時情報発信に努めたい。 ・傍聴者に配慮して会議を森岳公民館で1回開催した。 ・平成30年度の会議における傍聴者は6月定例会1回のみであった。
(3)会議録の公開、広報・広聴活動の状況	①会議録の作成・保管	・会議毎に、報告事項、議案及び審議内容を記した会議録を作成し、永年保存文書扱いとして管理している。
	②会議録の公開	<ul style="list-style-type: none"> ・原則公開としており、情報公開請求に対応できるよう会議録を整備しているが、平成30年度の公開事例はなかった。 ・会議録及び議案書等について、市のホームページへ掲載し公開した。
大項目	教育委員会と事務局との連携	
中項目	小項目	点検・評価
(1)教育委員会と事務局との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・懸案事項等が発生した場合、随時教育委員へ連絡を行うとともに、定例会において経過報告・協議を行い、現状把握や解決に向けた方策等について共通理解が得られるように努めた。 ・定例会において、諸問題について委員、事務局双方から問題提起し、意見交換や協議を行うことで教育課題にかかる共通認識を持ち、教育委員と事務局との連携を図った。
大項目	教育委員会と市長との連携	
中項目	小項目	点検・評価
(1)教育委員会と市長との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・総合教育会議を9月21日に開催し、学校ICT環境の整備、教育委員会所管個別施設計画について協議し、市長と教育長及び教育委員との意見交換を行った。 ・平成31年度当初予算重点事項について市長へ意見を申し出た。 ・その他必要な事項については、随時協議を行った。

1 教育委員会の活動状況

大項目		学校等教育機関に対する支援及び連携	
中項目	小項目	点検・評価	
(1) 学校への訪問		<ul style="list-style-type: none"> ・全小・中学校を対象として春に学校経営訪問で10校（半日）を、秋に中間指導で4校を、国語科の研究発表で2校をそれぞれ訪問し、助言指導を行った。 ・各学校の課題について校長から直接聴取し、その解決に向けた方策について適宜指導助言を行った。 ・全小・中学校を対象として、毎年実施し、教職員の資質向上に努め、学力向上を目指した本市学校教育の充実を図った。 	
(2) その他施設への訪問、行事参加等		<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の入学式・卒業式、運動会・体育大会、島原市中学校総合体育大会、北村西望賞教育美術展等へ参加した。 ・島原市民体育祭大運動会、島原市民親睦大会等の各種スポーツ大会にも積極的に参加し、また、JFAこころのプロジェクト「夢の教室」や有馬スポーツ賞表彰式に参加した。 	
大項目		教育委員の自己研鑽	
中項目	小項目	点検・評価	
(1) 研修会への参加状況		<ul style="list-style-type: none"> ・長崎県市町村教育委員会連絡協議会主催の研修会（大村市）や研究大会（大村市）、に参加し、研鑽を重ねるとともに他市の教育委員との意見交換を行い資質の向上を図った。 	
(2) 先進地への視察研修		<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は、五島市に赴き、英語教育を中心に視察研修を行った。 	
(3) 自己研修		<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修大会等への参加をはじめ、教育関係刊行物などを購読し、情報の収集に努めた。 	

2 教育委員会が管理・執行する事務

大項目	学校教育、社会教育及びスポーツに関する一般方針を定めること	
中項目	小項目	点検・評価
(1) 島原市教育方針等		<ul style="list-style-type: none"> ・島原市公共施設等総合管理計画に基づき、教育委員会が所管する施設の、今後の維持管理の方向性を具体化する個別施設計画を策定した。 ・「長崎県運動部活動の在り方に関するガイドライン」を参考に、「島原市運動部活動の在り方に関する方針」を策定した。 ・第2期島原市教育振興基本計画に基づき、学校ICT教育機器の計画的整備を図るために、島原市学校ICT環境整備計画を策定した。
大項目	学校・公民館及び図書館の設置及び廃止の決定に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
		平成30年度は、本項目に該当する事例はなかった。
大項目	教育財産の取得を市長に申し出ること	
中項目	小項目	点検・評価
		平成30年度は、本項目に該当する事例はなかった。
大項目	県費負担教職員の任免その他進退にかかる内申に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
(1) 校長への意見聴取		2回にわたる教職員実態調査(ヒアリング)を行うとともに、必要に応じて各校長への意見聴取を実施した。
大項目	県費負担教職員のサービスの監督に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
(1) 校長会、教頭会、学校訪問における指導		毎月の校長会、教頭会、学校訪問において不祥事防止に関する指導助言を行った。
大項目	教育委員会の任命にかかる職員(県費負担教職員を除く)の人事に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
		4月の定例教育委員会の中で定期人事異動の報告を行った。
大項目	学校・公民館及び図書館の敷地を選定すること	
中項目	小項目	点検・評価
		平成30年度は、本項目に該当する事例はなかった。
大項目	学校その他教育機関の工事の計画を策定すること	
中項目	小項目	点検・評価
(1) 学校施設の耐震化計画		平成30年度は、各学校における不適切なブロック塀の撤去改修に取り組んだ。

2 教育委員会が管理・執行する事務

大項目		教育委員会規則等の制定又は改廃を行うこと
中項目	小項目	点検・評価
		<p>・法の改正及び施設管理運営上の変更等に伴う委員会規則等の制定・改正について、教育委員会会議において審議した。</p> <p>○規則の制定・改正 6件</p> <p>(ア) 島原市児童生徒就学援助規則（制定）</p> <p>(イ) 島原市教育委員会の権限の事務の一部を教育長に委任し又は臨時に代理させる規則の一部を改正する規則</p> <p>(ウ) 島原市少年センター規則の一部を改正する規則</p> <p>(エ) 島原市教育委員会公印規則の一部を改正する規則</p> <p>(オ) 島原市学校運営協議会規則（制定）</p> <p>(カ) 島原市中心身障害児就学指導委員会規則の一部を改正する規則</p> <p>○要綱等の制定・改正 4件</p> <p>(ア) 島原市児童生徒就学援助取扱要綱（制定）</p> <p>(イ) 島原市学校教育振興補助金交付要綱の一部を改正する要綱</p> <p>(ウ) 島原市所蔵古文書調査事業指導委員会設置要綱（制定）</p> <p>(エ) 島原市学校事務共同実施連絡協議会運営要綱の一部を改正する要綱</p>

2 教育委員会が管理・執行する事務

大項目 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の作成について意見を申し出ること		
中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度当初予算における重点事項について協議を行い、次の4項目に関して市長へ意見を申し出た。 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 学校教育の充実 (イ) 社会教育の推進 (ウ) スポーツの推進 (エ) 教育環境の充実 ・平成30年度補正予算要求5件及び平成31年度当初予算要求1件について審議を行った。 ・教育に関する事務に関し、議会の議決を経るべき次の議案について、必要な案件の審議を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 公の施設の指定管理者の指定 1件 (島原図書館・有明図書館)
大項目 教育委員会の所管に属する各種委員会・審議会等の委員の任命又は委嘱に関する事		
中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・各種審議会等の委員の適任者として推薦があった者について、定例教育委員会において審議を行い、任命又は委嘱した。 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 各種審議会等委員の委嘱及び任命 17件 (イ) 学校医の解職・委嘱 2件
大項目 教育関係職員の研修の一般方針を定めること		
中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・資質・指導力の向上を図るため以下の4つの研修を行った。 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 島原市学力調査結果分析研修会 (小学校2校 中学校2校) (イ) 中学校学力向上研修会(国語) (ウ) 島原市教育講演会 全教職員対象 (エ) 島原市外国語活動研修会
大項目 教科用図書の採択に関する事		
中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は、小学校教科書及び中学校教科書「特別の教科 道徳」の採択業務を行った。

2 教育委員会が管理・執行する事務

大項目	学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること	
中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度中の区域の設定・変更は行わなかった。 ・個別の要望には、校区外通学で対応した。
大項目	教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うこと	
中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の事業について点検及び評価を実施し、9月市議会において報告するとともに、ホームページで公開した。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

大項目	学校教育に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
(1) 確かな学力の育成	①島原市学力調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、学力向上に向けた授業改善などの取組の充実を図った。 小2～小4（1学期） 国語、算数 中1（1学期） 国語、数学 中1・中2（3学期） 国語、数学、英語
	②授業改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組み、問題を解決する力を育成するために、各小・中学校において、体験的な学習や基礎的・基本的な知識・技能を活用した問題解決的な学習を取り入れた授業を実践した。 ・全小・中学校へ学校訪問を行い、指導助言をすることで授業改善の推進に努めた。 ・全国学力学習状況調査の結果を公表した。 ・市学力調査結果分析研修会を実施した。 ・問題データベースシステムの導入 (小：算数・国語・社会・理科) (中：数学・国語・英語)
	③きめ細かな指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各小・中学校において、学習内容、児童生徒の興味・関心、達成度等に応じた少人数指導やTT（ティームティーチング）を行い、きめ細かな指導の充実に努めた。 ・授業中、個別に支援が必要な児童生徒に対し、学習支援員を活用した指導の充実に努めた。
	④学びの習慣化	<ul style="list-style-type: none"> ・各小・中学校において、特設学力向上タイム（週1回30分間など）を設定した。 ・学力向上には家庭学習の定着が欠かせないことから、学校ごとに設定している共通のきまりをもとに学習習慣や基本的な生活習慣の定着を図るよう、指導を行った。 ・各小・中学校において、児童・生徒の学習の進捗や理解度に応じた多様な問題に取り組むことができるように、学習プリントのインターネット配信サービスを活用した。
(2) 国際化への対応	①ALTの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT（外国語指導助手）を5人配置し、中学校には学校の規模に応じて週に2～3回、小学校には週に1～2回程度計画的に派遣し、授業で活用した。 ・ALTミーティングを年6回実施し、サービスの指導と職場及び日常生活における困りごとの相談活動を行った。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
	②ながさキッズイングリッシュチャレンジ事業の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会が主催するイングリッシュキャンプが島原城や鯉の泳ぐまち等を会場に行われ、全中学校1年生が参加し、外国人との英会話体験を行った。 ・長崎県中学生英語暗唱大会へ1人を選考し、県大会参加者として推薦した。
	③国際交流活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生15人を選考し、香港を4泊5日で訪問した。 ・現地の中学生と英語で交流を行うとともに現地日本企業、歴史・文化施設を見学した。 ・3回の事前研修会をとおして、個々の生徒の目的意識を高めて参加させたことが訪問交流研修の充実につながった。 ・帰国後の報告会を行った。
(3) 特別支援教育の推進	①一人ひとりに応じた指導・支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、保育園と小学校が互いに訪問し、学習や生活の様子を観察したり、話し合ったりすることで支援が必要な子どもの情報の共有化を図った。 ・中学校入学時における連絡会等をとおし、個別に支援が必要な児童の情報を確実に引き継いだ。 ・就学相談においては、市保健センターとの連携を深め5歳児健診等の情報から適切な就学につなげた。 ・各小・中学校において、個別の教育支援計画を作成するよう指導した。
	②指導体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会を開催するよう指導し、個別に支援が必要な児童生徒に対する共通理解を図った。
	③関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・就学指導においては、市保健センターの5歳児健診へ各小学校の特別支援担当職員を参加させ、就学前の子ども実態把握に努めた。 ・島原市通園施設あいあい等との連携を行い、適切な就学相談へとつなげた。 ・特別支援学校へ授業参観や発達検査を依頼し、児童生徒に対する適切な指導方法について助言を受けた。 ・県教育センターの巡回教育相談を活用し、児童生徒の指導の充実を図った。 ・島原市就学相談会を開催することで、障害や就学について保護者の理解を深めた。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
(4)防災教育の推進	①防災計画の充実	<ul style="list-style-type: none"> 地震や津波、火事等の災害に備えて避難訓練を実施し、自分の命を守るために、避難方法や経路の確認、確実な情報を得ること、落ち着いた行動、規律を守る行動をとること等の必要性を学習した。 熊本地震の教訓を生かし、防災教育の見直しを行った。 島原市通学路交通安全プログラムに沿って、関係機関と連携し、通学路安全推進会議を実施した。関係機関により危険箇所に対する対策が施された。 <p>(主な対策)</p> <p>(ア)側溝蓋およびグレーチング設置</p> <p>(イ)区画線引き直し等</p>
	②防災学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> 各小学校では、理科や社会科、総合的な学習の時間等で災害の特性や防災体制、災害を防ぐための工夫、災害発生時の適切な行動等を学習した。 各中学校では、保健体育、学習活動等で災害時の初期対応、安全な行動の仕方、応急手当等、自分の安全と他の人々の安全にも配慮するなど災害に対して適切な行動をとることを学習した。
	③「いのりの日」の取組	<ul style="list-style-type: none"> 雲仙普賢岳災害の復興から学んだ「生命・きずな・感謝の心」の精神を生かして、昨年は6月1日を「いのりの日」として各学校で様々な取り組みを行った。 各学校で行われた取組内容は以下のとおりである。 <p>学習発表、ビデオ視聴、災害体験者・語り部による講話、道徳授業公開、校長講話、全校集会</p>
	④ジオパークに関する取組	<ul style="list-style-type: none"> 導流堤、砂防ダム、定点の観察や社会科副読本「私たちの島原市」での学習、雲仙岳災害記念館の講師による現地見学説明など、各学年の発達段階に応じたジオパーク学習を全小・中学校で行った。また、この学習を、社会科、理科、総合的な学習の時間及び特別活動など各教科・領域の教育課程に位置づけるよう指導した。 中学生海外訪問交流事業（香港）の際、ジオパークに関する交流・学習を行った。 島原市小・中学校合同科学作品展においてジオパークコーナーを設置し、児童生徒の作品とともにジオパークに関するパンフレットなどの資料を展示した。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価																			
(5)豊かな心の育成	①道徳教育の充実	・「長崎っ子の心を見つめる教育週間」に、「生命」をテーマとした道徳の授業を全小・中学校で実施・公開した。																			
	②人権学習の充実	・人権週間の取り組みについては、各学校標語づくりや人権宣言、ゲストティーチャーによる講話等、工夫を凝らした取り組みを行った。																			
	③平和学習の充実	・全小・中学校で8月9日の登校日に平和集会を開催した。 (7)校長講話 (イ)平和学習の発表 (ウ)平和宣言 (エ)平和に関する歌 ・8月9日以外の平和学習 (7)小学校4年生の社会科見学 (イ)各教科における平和教材を使った学習																			
	④読書活動の推進	・全小・中学校に配置した「学校司書」を活用しながら、不読者率1%以下を達成した。 不読者率(目標:1%以下) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>0.32</td> <td>0.28</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>1.12</td> <td>0.66</td> </tr> </tbody> </table>		H29	H30	小学校	0.32	0.28	中学校	1.12	0.66										
		H29	H30																		
小学校	0.32	0.28																			
中学校	1.12	0.66																			
⑤文化・芸術教育の充実	・北村西望賞教育美術展、夏休み親子粘土教室、小中学校合同科学作品展等を実施し、文化・芸術教育の充実を図った。 【参加者数】 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tbody> <tr> <td>北村西望賞教育美術展</td> <td>出展数</td> <td>282点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">夏休み親子粘土教室</td> <td>児童</td> <td>87人</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>引率</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>150人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">小中学校合同科学作品展</td> <td>小学校出品数</td> <td>235点</td> </tr> <tr> <td>中学校出品数</td> <td>90点</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>325点</td> </tr> </tbody> </table>	北村西望賞教育美術展	出展数	282点	夏休み親子粘土教室	児童	87人	保護者	28人	引率	35人		計	150人	小中学校合同科学作品展	小学校出品数	235点	中学校出品数	90点	計	325点
北村西望賞教育美術展	出展数	282点																			
夏休み親子粘土教室	児童	87人																			
	保護者	28人																			
	引率	35人																			
	計	150人																			
小中学校合同科学作品展	小学校出品数	235点																			
	中学校出品数	90点																			
	計	325点																			

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
	⑥生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導担当者会を開催し、適応指導教育実践報告、いじめ、不登校、問題行動への対応や解決のあり方を協議し未然防止に努めた。 ・児童生徒の悩みや相談に対応するため、全中学校に「心の教室相談員」、全小・中学校（拠点校方式を含む）「スクールカウンセラー（県教委事業）」を配置して対応した。 ・適応指導教室「ひまわり教室」において、不登校児童に対する支援を行った。 ・いじめ防止対策として、児童生徒・保護者用アンケートを、年に3回（5月・9月・1月）に実施した。 ※児童生徒用は各学校が、保護者用アンケートは市教育委員会が作成した。 ・いじめ防止対策推進法に基づくいじめの認知を行うため、学期ごとにいじめの認知件数に関する調査を実施した。 ・中学校入学時における連絡会を通して、継続的な指導・支援が必要な児童生徒については、引継ぎシートで確実に引き継いだ。 ・福祉と連携するために、スクール・ソーシャル・ワーカーを配置した。児童生徒が抱える課題に対して、スクール・ソーシャルワーカーの取り組みにより福祉や医療機関とのネットワークが形成された。 ・要保護児童及びその保護者に関する情報、その他要保護児童の適切な保護を図るために必要な情報の交換と支援の内容に関する協議を行った。 ・スクールカウンセラーと連携しながら校内ケース会議に参加し、助言サポートを行った。
(6) 健やかな体の育成	①学校体育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全小・中学校全児童生徒の体力について、市教育委員会が分析し、その結果を受けて、全小・中学校が「体力向上アクションプラン」を作成し、実施した。 ・中学校体育連盟の会議や小学校体育連盟の会議の機会を生かして、学校体育に関する指導を実施した。
	②部活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校体育連盟の会議の機会をとおして、部活動のあり方や指導力向上に対する指導を実施した。 ・外部指導者の委嘱は、各校長の推薦を受けて教育委員会が行い、校長をとおして、体罰防止等の指導を行った。平成30年度の外部指導者登録者数は63人

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
	③健康教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・小児生活習慣病予防検診を実施し、小学校4年生を対象として、市医師会と連携し、専門医による保健指導を行った。 ・月1回の養護教諭部会、年2回の保健主事・養護教諭合同部会を定期的に開催し、保健・安全に関する研修会を行った。 ・薬物の害や怖さ、勧められたときに断る勇気の大切さを理解させるため、各学校で薬物乱用防止教室を実施した。 ・う歯予防及び低減に向けて、全小学校において、フッ化物洗口を実施した。
(7)食に関する指導の充実	①学校における教科等を活用した食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜等を栽培・収穫・調理し、試食するという一連の体験活動をとおして、「食事」にはたくさんの人の手がかかっていることを理解させ、それに対する感謝の念をもたせることができた。
	②給食を活用した食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回、学校教育課・栄養教諭にて、献立作成会を開催し、メニューの考案に努めるとともに、食品の種類を幅広く組み合わせることで、食事内容の充実と摂取栄養素のバランスを図るよう努めた。 ・「学校給食週間」において、「具雑煮」「ろくべえ」等を献立に取り入れ、児童・生徒の郷土に対する理解を深めることができた。
	③家庭・地域と連携した食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各小・中学校で「給食だより」を毎月発行し、学校給食の状況や食に関する情報を提供し、家庭の食に関する意識高揚に努めた。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
(8) 教職員の資質向上	① 教職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定例管理職研修会、教務主任研修会、生徒指導担当者研修会等で専門的な研修を行い、教職員の資質・指導力の向上を図った。 ・ 島原市教育講演会を開くことで、本市教職員の資質向上を図り、これからの学校教育の在り方と教職員の役割について研修を深めた。 講師 秋田県・東成瀬村教育委員会教育長 鶴飼 孝 氏 演題 「共に学び合う教育」 ・ 島原市外国語活動研修会の開催 ・ 管理職に対して体罰防止等、不祥事防止のための研修を行った。 ・ 学力先進地視察を行った。(秋田県東成瀬村) ・ 島原市学力調査結果分析研修会(小学校2校 中学校2校)
	② 校内研修体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小・中学校14校の半数を毎年順次指定し、最終年度には研究の成果を発表している。各学校はそれぞれの学校課題を解決するために、研究テーマを設け教師の指導力や授業力の向上を図った。 ・ 学校からの要請にもとづき、授業研究会で指導助言を行った。
	① 校種間連携の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校区内の小学校と中学校が、相互に授業を公開したり、中学校の教諭が小学校に出向いてアドバイスを行った。
(9) 地域との連携	① 地域の教育力を生かした学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職場体験学習(小・中学校) 職場見学や職場体験学習を行い、感謝の気持ちをはぐくみ、キャリア教育の充実を図った。 ・ 福祉体験学習(中学校) 高齢者・障害者施設等を訪問し、社会貢献しようとする意欲を養った。 ・ 野外宿泊体験学習(小・中学校) 県立千々石少年自然の家や国立諫早青少年自然の家で、ジオパーク学習も取り入れ、宿泊体験学習を実施した。 ・ 島原市退職校長会作成の「教育支援人材バンク一覧表」を活用し、地域人材を生かした教育活動を行った。
	② 信頼される学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校は自己評価や学校関係者評価等によって、学校運営の改善を図っている。また、地域の人たちからなる学校支援会議を活用し、子育て支援に取り組んだ。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

大項目		社会教育に関すること
中項目	小項目	点検・評価
(1) 「島原市ココロねっこ運動」の推進	①青少年の体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・週末余暇活動は市内7地区で行われ、地区単位で延べ37回の体験活動などが行われた。 ・通学合宿を市内7小学校区で実施し、計131人の児童が参加した。各種団体のボランティアスタッフやもらい湯を提供した家庭との交流が図られた。 ・放課後子ども教室は、放課後の子どもの居場所づくり及び自学の習慣を身に付けさせることを目的に、次の2つを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> (ア)スクールキッズ(自主学习) 延べ611人 (イ)放課後子ども学習室(自主学习) 延べ35,109人 ・夏休み期間中に、古典の学習や論語の素読を行う子ども古典講座「夏休み稽古館」を実施し、延べ168人の参加があった。
	②子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級は、地区ごとに年6回程度の講座が計画され、PTAや青少年健全育成協議会などの各種団体が主体となり実施した。 <ul style="list-style-type: none"> (39講座 延べ6,688人) ・健康教育講座は、地区ごとに計画され、延べ289人(家庭教育学級の再掲)の参加があった。 ・思春期子育て講座は、中学校区ごとに計画され、延べ515人(家庭教育学級の再掲)の参加があった。 ・社会教育委員の会が作成した「しまばら家庭教育三・三・七拍子!」について、広報しまばらや各種会合での周知と実践を奨励した。 ・家庭教育学級を進行できるファシリテーターの養成を図り、これまでの1名から15名体制となった。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
	③学校と地域社会の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・杉谷地区、安中地区では、小学校と地域が合同で運動会を開催し連携を強めた。 ・通学合宿、週末余暇活動などにより、学校と地域の連携が図られた。 ・ひとづくり出前講座は32回の利用があった。 ・学校支援会議は、各小・中学校で開かれており、学校区内における意見交換が図られた。
(2) 地域の特性を生かした公民館活動の推進	①地域に根ざした公民館の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館まつりは市内全7地区で実施され、公民館を利用しているサークルなどの日頃の成果を発表する場となっており、多くの来場者があり、地区住民同士の交流が図られた。 ・各地区公民館運営委員会及び公民館運営審議会はそれぞれ年2回行われ、公立公民館の運営や要望などを話し合う場となった。
	②各種学級・講座の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・女性学級は、学級生と公民館主事、社会教育指導員で講座内容を決めている。9学級、84講座で延べ1,883人の参加があった。 ・高齢者学級は、学級生と公民館主事、社会教育指導員で講座内容を決めている。全7地区、63講座で延べ2,054人の参加があった。 ・家庭教育学級は、各地区の青少年健全育成協議会・PTA・学校・公民館の代表者で講座内容を決めている。全7地区、39講座で延べ6,688人の参加があった。 ・青年教室は、白山地区で行われ、4講座で延べ27人の参加があった。 ・公民館自主講座は7公民館で137講座が開催され、延べ1,736人の参加があった。市民の文化教養の向上が図られた。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
	③自主活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 各サークルで、工夫・改善を行いながら充実した活動となっている。7地区公民館において194のサークルが活動を行った。
(3) 社会教育の推進と社会教育関係団体の育成	①青少年関係団体の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 各地区の青少年健全育成協議会は、地区ごとの特色を生かした伝承・伝統行事や週末の余暇活動等を実施した。 朝のあいさつ運動は、各地区の青少年健全育成協議会が中心となり会員が通学路の要所（校門や交差点）に立ち、児童生徒の安全を見守るなど、積極的に行われた。 非行防止活動として、各地区において夜間パトロールやお祭り、夜市などでのパトロールを行った。 子ども会育成連絡協議会の活動については、自主運営を働きかけ、ジュニアリーダー研修会など独自性のある活動が行われた。また、協議会の役員とジュニアリーダーが研修会などにも積極的に参加した。
	②各種団体の支援	<ul style="list-style-type: none"> 婦人会活動は、有明地区、杉谷地区以外の5地区で行われた。会員数の減少が課題となっている。 なお、有明地区及び杉谷地区については、地区婦人会が存在しないが、地区の活性化を願う女性の会が結成されている。各地区において、地区活性化のための行事に積極的に取り組んだ。 白山青年団は活発に活動しており、市内唯一の青年団体として地域に貢献した。 島原市PTA連合会は、「心豊かでたくましい子どもを育てるPTA活動」をテーマに研修会を開催し、200名が参加した。全体会では、長与町立長与中学校の梅木澤泰江副校長を講師に招き「親力アップのために～家庭教育の視点から～」と題した講演会を行った。また、分科会において指導助言を行った。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
(4) 文化活動の推進	①文化団体の育成と文化事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・島原市美術展覧会は、島原市、市教育委員会、島原文化会館、島原文化連盟及び有明文化協会が主催で、平成30年10月3日(水)～8日(月)の6日間開催した。 出品数451点、入場者1,310人 ・島原市民音楽祭は、島原市小中学校音楽教育研究会、島原市音楽連盟、島原市邦楽振興会との共催で開催した。 (ア)小中学生の部 平成30年11月10日(土) 2,757人(うち出演者945人) (イ)洋楽の部 平成30年11月11日(日) 700人(うち出演者242人) (ウ)邦楽の部 平成30年11月18日(日) 396人(うち出演者124人)
	②自主文化事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・映画「夢は牛のお医者さん」上映 平成30年10月27日(土) 有明文化会館 入場者数511人/700席 (入場率73%) ・肥前島原子ども狂言は、幼児から高校生まで36人の申込みがあり5月16日から10月13日(薪能)までに12回開催した。
	③市民文化の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・文化関係団体と連携を強化し、市民文化講座を開催することで、市民の文化の向上に努めた。 講師 堀本一繁 氏(福岡市博物館 学芸課主査) 演題「有明海の戦国時代」 平成30年7月21日(土) 森岳公民館 入場者数 72人 ・梅林俳句会は、2月12日(火)に行われ、35人の参加者があった。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
(5) 図書館の充実	①図書館活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館司書の専門的知識を生かし、利用者からのリクエストを参考としながら、新規図書等の購入、資料の収集を行った。 (ア) 島原図書館(平成30年度末) <ul style="list-style-type: none"> 蔵書数 125, 125冊 視聴覚資料 4, 813点 (イ) 有明図書館(平成30年度末) <ul style="list-style-type: none"> 蔵書数 79, 686冊 視聴覚資料 1, 345点 年間貸出冊数 230, 439冊 (島原・有明図書館合計) ・団体貸出や図書館遠隔地の学校への配本を実施し、子どもの読書活動を推進した。 ・図書館に親んでもらうための自主事業を展開し、両図書館合わせて172回、延べ6, 173人が参加した。 ・島原図書館協議会が年2回開催され、島原図書館及び有明図書館の運営について協議が行われた。
(6) 少年センターの充実	①補導活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・68人の少年補導委員を委嘱し、毎月の定期補導活動に加え、長期休業中や市の行事における特別補導等、各地区で積極的、計画的に取り組んだ。年間の補導活動は162回、延べ550人の参加があり、6件の補導があった。 ・商店街、学校、警察及び交通安全協会等と協力して、自転車指導を2回実施した。
	②相談活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・相談業務においては、少年センターだよりの配布を行い啓発を図った結果、10件(年間)の相談があった。
	③環境浄化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市内3か所に設置した白ポストにより青少年の健全育成に有害な雑誌やDVD等を毎月回収しており、年間381点を回収した。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> 立ち入り調査を年2回実施し、有害図書のある書店及びコンビニ、カラオケボックス、携帯電話販売店などを調査・指導した。
	④地域啓発活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1日の「少年の日」におけるあいさつ運動は、各地区の社会教育関係団体と連携しながら、積極的に活動を行った。 毎月第3日曜日の「家庭の日」について、その直前の金曜日に、車による広報活動を行った。 「少年センターだより」を年6回発行した。
	⑤関係機関等との連携	<ul style="list-style-type: none"> 年2回実施している少年補導委員会の中で、島原警察署員などによる講話を実施するなど資質の向上に努めた。 少年センター運営協議会が年2回開催され、少年センターの運営について協議が行われた。
(7) 文化財の保護	①旧島原藩薬園跡	<ul style="list-style-type: none"> 薬草や薬木の植え替え整備を行うとともに除草等による維持管理に努めた。 年間入場者数：1, 236人
	②肥前島原松平文庫	<ul style="list-style-type: none"> 古典籍の修復作業や来館する研究者、見学者、郷土史に関する各種問い合わせに対応した。 大学教授等を招聘し、未整理資料の調査を行った。(4ヶ年事業の1年目) 資料保存を目的としたマイクロフィルムの撮影を行った。13,698コマ(平成30年度実績) 展示室では「森岳城図」「島原大変大地図」などを展示し、来館者に紹介した。 年間閲覧者数：413人 地域おこし協力隊に2名を委嘱し、松平文庫をはじめとする文化財の調査や本市の歴史文化の啓発に取り組んだ。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
	③島原城跡	<ul style="list-style-type: none"> ・島原城跡の本質的価値を明確にし、その保存と活用の基本方針となる保存活用計画の策定委員会を設置し、3回開催した。 ・昨年度までに取得した旧島原拘置支所職員宿舎敷地及び旧長崎地方裁判所島原支部官舎敷地に芝張りを行い遺構の保護を行った。
	④各種文化財	<ul style="list-style-type: none"> ・開発行為対応のための埋蔵文化財発掘調査(7遺跡)を行った。 ・松平家墓所(本光寺境内)調査のための調査指導委員会を2回開催し、調査報告書を刊行した。 ・鉄砲町重要伝統的建造物群保存地区(仮称)の選定を目指し、候補物件所有者に対し、指定内諾に関する照会文書を発出した。併せて、戸別訪問による説明を実施した。 配布件数 118件 (うち内諾回答 11件) ※平成31年3月31日現在 戸別訪問件数 41件 ・本市と姉妹都市の福知山市に残る日米親善人形の対面式と合同展示会を実施した。 展示会 11月18日から12月16日 入場者 345人 ・国指定等文化財8か所に10か国語による説明を視聴できるオメガコードとスマートフォンアプリを整備した。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

大項目 スポーツ推進に関すること		
中項目	小項目	点検・評価
(1) 生涯スポーツの推進	① 総合型スポーツクラブの普及・推進	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型スポーツクラブの新規登録を目指して、昨年度に引き続きスポーツ少年団総会に日本体育協会クラブアドバイザーを招いて「総合型スポーツクラブのあり方について」の講演を開催した。 ・総合型スポーツクラブとして、「白山総合スポーツクラブ（通称：白山いきいきスポーツクラブ）」が、卓球やバドミントン等、週2回活動した。
	② スポーツ大会の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民総参加でスポーツにふれあう場として市民体育祭を開催し、大運動会に2,900人、(各種競技大会は、台風により中止)の参加を得て、市民の健康及び体力づくりの推進を図った。 ・教育委員会主催で下記の8つのスポーツ大会を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 第43回島原市民親睦サッカー大会 平成30年4月22日(日) 島原市営平成町多目的広場 参加人数 一般 300人 (イ) 第9回島原市民親睦ソフトバレーボール大会 平成30年7月22日(日) 島原市霊丘公園体育館・弓道場 参加人数 一般 151人 (ウ) 第18回島原市少年軟式野球大会 平成30年12月15日(土) 島原市営球場 参加人数 中学生 60人 (エ) 第19回島原市少年ソフトボール大会 平成30年12月8日(土) 島原市営有明の森運動広場 参加人数 小学生 160人 (オ) 第38回島原市民親睦テニス大会 平成30年12月9日(日) 島原市営総合運動公園庭球場 参加人数 一般 82人 (カ) 第42回島原市民親睦バドミントン大会 平成31年2月17日(日) 島原市霊丘公園体育館・弓道場 参加人数 一般 44人

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
		(キ)第49回島原市民親睦卓球大会 平成31年2月24日(日) 島原復興アリーナ 参加人数 一般 233人 (ク)第52回島原市民親睦ソフトボール大会 平成31年3月17日(日) 島原市営三会ふれあい広場 参加人数 一般 51人 以上の大会に延べ1,100人の市民が参加し、相互の親睦を深めるとともに、健康増進・体力づくりの一助になった。
	③スポーツ交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールデンウィーク中の高校剣道錬成大会や、夏休み期間中の市長杯少年サッカーフェスティバル、冬の島原学生駅伝など、交流人口の拡大による地域の活性化を目的として、関係団体等と密接な連携を図りながら、大規模な大会の開催に努めた。
	④しまばら体操の普及	<ul style="list-style-type: none"> ・市民体育祭や市長杯少年少女サッカー大会など市が主催する体育行事に準備運動等で活用した。 ・小、中学校の運動会・体育大会、地区の運動会での活用を推進した。
	⑤ラグビーワールドカップ公認チームキャンプ誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年12月20日、ラグビーワールドカップ2019公認チームキャンプ地選定プロセスへ長崎県と共同で応募申請(12月21日受理) ・平成30年7月24日トンガ代表の公認キャンプ地に決定 ・トンガ代表の受け入れ態勢の整備を行うとともに、2国間交流の推進や地域の活性化を期待して取り組んでいる。
	⑥東京オリンピック・パラリンピックホストタウン申請	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年6月14日、ホストタウン登録 相手国：ベトナム 共同申請者：長崎県、長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、壱岐市、雲仙市、南島原市、川棚町 ・平成29年7月7日、ホストタウン登録 相手国：スペイン 共同申請者：長崎県、島原市

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピック選手はもとより、選手の母国文化との交流等を活発に行い、スポーツや地域の活性化に弾みがつくことを期待して取り組んでいる。 ・平成31年1月7日～12日スペインレスリング競技トレーニング等交流派遣事業として市内高校生レスリング選手5名をスペインへ派遣し、地元ジュニアレスリング選手と交流を行った。
(2) ジュニアスポーツの推進	①スポーツ少年団活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団登録49団に対して、運営費及びスポーツ安全保険加入費補助金を交付した。 ・スポーツ少年団の交流促進を目的に、スポーツ少年団駅伝大会を開催し、選手は32団から212人が参加した。 ・スポーツ少年団指導者の資質の向上を目的に、日本体育大学から講師を招き、指導者研修会を開催し、169人が参加した。
	②「夢の教室」の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・夢を持つことの大切さや仲間と協力することの大切さを学ぶよい機会となることを目的に、JFAこころのプロジェクト「夢の教室」を市内すべての小学校第5学年を対象に開催した。学級数15学級、児童数410人、夢先生7人 ①10月16日(火) 四小(1クラス) ②10月17日(水) 五小(2クラス) ③10月18日(木) 三会小(2クラス) ④10月31日(水) 一小(2クラス) ⑤11月 1日(木) 一小(1クラス) 二小(1クラス) ⑥11月14日(水) 三小(2クラス) ⑦11月15日(木) 大三東小(2クラス) ⑧11月16日(金) 湯江小(1クラス) 高野小(1クラス)
	③小・中学生派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアスポーツの充実を図るため、トップレベルの指導者や選手がいる日本体育大学と協定を結び、小・中学生15人を8月1日(水)～4日(土)の4日間で、大学に派遣し、講義や実技指導を受けることにより、児童生徒の意識の高揚を図り、さらなるスポーツの振興や競技力の向上をめざす事業を行った。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

大項目		教育環境に関すること
中項目	小項目	点検・評価
(1) 学校施設の整備・充実	①学校施設の整備	<p>・小・中学校の校舎・体育館の構造体の耐震補強工事は平成24年度で完了し、体育館については、非構造部材の耐震化もすでに平成27年度で完了した。今後は、第2期島原市教育振興基本計画に沿って、校舎の非構造部材の耐震化工事及び空調設備の更新工事に取り組むこととしており、平成30年度では第三小学校校舎の外壁改修工事、第三中学校の空調設備更新工事のほか、大三東小、第二中、三会中及び有明中の防水工事を行った。</p> <p>○実施状況</p> <p>(ア) 校舎非構造部材落下防止対策工事</p> <p>(イ) 教室等空調設備更新工事</p> <p>(ウ) 校舎屋上防水工事</p> <p>・危険性・緊急性・必要性等を考慮し、計画的な施設整備を行った。</p> <p>○実施状況（主なもの）</p> <p>(ア) 火災に伴う改修工事 四小</p> <p>(イ) 天井改修工事 五小</p> <p>(ウ) 渡り廊下腰壁改修 三小・五小、二中</p> <p>(エ) ブロック塀等改修・撤去 一小・三小・五小 三会小、一中・二中・三会中・有明中</p> <p>(オ) トイレ様式化工事 五小、有明中</p> <p>(カ) 床研磨・床張替工事 一小・二小</p> <p>(キ) 電話機更新工事 四小</p> <p>(ク) 窓枠改修工事 二小</p> <p>(ケ) 防犯カメラ設置工事 四小</p> <p>(コ) 雨漏り修繕工事 長貫分校</p>
	②教育設備等の充実	<p>・教職員の校務の効率化を図るため、平成29年度以降3か年で校務用パソコン250台を更新する計画のもと、昨年度は小・中学校で計100台を購入した。</p> <p>○平成29年度実績：50台購入 (小学校30台、中学校20台)</p> <p>○平成30年度実績：100台購入 (小学校60台、中学校40台)</p> <p>○平成31年度予定：100台購入 (小学校70台、中学校30台)</p>

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
	③給食施設等の充実	<p>・安全・安心な給食の提供のため、給食施設等の改善を図った。</p> <p>(ア)包丁まな板消毒保管機購入 二小・四小</p> <p>(イ)丸型フライヤー購入 三小・有明学校給食センター</p> <p>(ウ)牛乳保管庫購入 二中</p> <p>(エ)ガステーブル購入 四小</p>
(2) 社会教育施設の整備・充実	①公民館の整備・充実	<p>・危険性・緊急性・必要性等を考慮し、計画的な施設設備の整備を行った。</p> <p>○実施状況（主なもの）</p> <p>(ア) 雨漏り修繕 杉谷公民館</p> <p>(イ) ガス湯沸し器修繕 杉谷公民館</p> <p>(ウ) 1階系統空調設備修繕 杉谷公民館</p> <p>(エ) 駐輪場修繕 霊丘公民館</p> <p>(オ) 有明体育館側通路隅切り 有明公民館</p>
	②図書館の整備・充実	<p>・危険性、緊急性、必要性等を考慮して、計画的な施設設備の整備を行った。</p> <p>○実施状況</p> <p>(ア) 松平文庫展示室照明 島原図書館</p> <p>(イ) 玄関雨漏り修繕 島原図書館</p> <p>(ウ) テラス雨よけ設置修繕 島原図書館</p>
	③文化会館の整備・充実	<p>・危険性、緊急性、必要性等を考慮して、計画的な施設設備の整備を行った。</p> <p>○主な実施状況</p> <p>(ア) 舞台大黒幕改修 島原文化会館</p> <p>(イ) 大ホール女子トイレ洋式化改修 島原文化会館</p> <p>(ウ) 建築設備非常灯修繕 有明文化会館</p> <p>(エ) 消防設備修繕 有明文化会館</p> <p>(オ) 高圧区分開閉器取替 有明文化会館</p>

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価																									
(3) スポーツ施設の整備・充実		<ul style="list-style-type: none"> 施設の安全性や利用者の利便性の向上を図るため、必要な改修・補修工事を実施した。 ○実施状況（主なもの） <ul style="list-style-type: none"> (ア) 島原市営陸上競技場ほか2箇所オーバーシーディング業務委託 (イ) 平成町多目的広場芝管理業務委託 (ウ) 市営球場バックスクリーン改修工事 (エ) 温水プール屋根材固定金具落下防止工事 (オ) 有明大野浜運動場防球フェンス取替工事 (カ) 島原復興アリーナトイレ洋式化改修 (キ) 屋外直営施設トイレ電気設備改修 (ク) 陸上競技場円盤・ハンマー投げ囲い購入 (ケ) ラグビーゴール購入 																									
(4) 修学支援の実施	①奨学金制度	<ul style="list-style-type: none"> 修学支援のため向学心があるにもかかわらず、経済的な理由で修学が困難な学生に対して、奨学金の貸し付けを行った。 平成30年度中の新規貸与実績は、貸与者7人、貸与額246万円だった。また、平成29年度に新たに創設した償還免除型の「ふるさとにもどってこね奨学生」には、2人の応募があり奨学生審議委員会の審議を経て2人を奨学生に決定した。 未納整理対策として支払督促や即決和解などの法的措置や個別訪問による分納誓約書の徴取などに取り組んだ結果、未納者数及び未納額ともに前年度より改善した。 <p>平成30年度中の実績（平成31年3月31日現在）</p> <p style="text-align: right;">（単位：人/千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">貸与実績</th> <th colspan="2">うち新規貸与者（再掲）</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>金額</th> <th>人数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総計</td> <td>29</td> <td>9,135</td> <td>7</td> <td>2,460</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内訳</td> <td>貸付型</td> <td>25</td> <td>6,735</td> <td>5</td> <td>1,260</td> </tr> <tr> <td>ふるさとにもどってこね（償還免除型）</td> <td>4</td> <td>2,400</td> <td>2</td> <td>1,200</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ふるさとにもどってこね奨学金とは・・・ 若者の帰郷、定住促進を目的に大学等卒業後、一定要件（帰郷・定住）を満たした本市出身の学生に対して、償還金を免除する奨学金をいう。（平成29年度から貸付）</p>		貸与実績		うち新規貸与者（再掲）		人数	金額	人数	金額	総計	29	9,135	7	2,460	内訳	貸付型	25	6,735	5	1,260	ふるさとにもどってこね（償還免除型）	4	2,400	2	1,200
	貸与実績			うち新規貸与者（再掲）																							
	人数	金額	人数	金額																							
総計	29	9,135	7	2,460																							
内訳	貸付型	25	6,735	5	1,260																						
	ふるさとにもどってこね（償還免除型）	4	2,400	2	1,200																						

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価			
		(単位:人/千円)			
		償還実績		未納状況	
		人数	金額	人数	金額
		83	7,675	44	6,318
		対前年度比 △5人 △868千円			
	<p>②就学援助制度</p>	<p>・経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費、各学校行事活動費、学校給食費等の援助を行った。</p> <p>○準要保護認定状況（平成30年度）</p> <p style="padding-left: 20px;">小学校 346人（認定率14.97%）</p> <p style="padding-left: 20px;"><u>中学校 189人（認定率16.74%）</u></p> <p style="padding-left: 40px;">計 535人（認定率15.55%）</p> <p>○就学援助費支給状況（平成30年度）</p> <p style="padding-left: 20px;">学用品費 14,808千円</p> <p style="padding-left: 20px;">社会科見学活動費 157千円</p> <p style="padding-left: 20px;">校外活動費 235千円</p> <p style="padding-left: 20px;">修学旅行費 4,033千円</p> <p style="padding-left: 20px;">医療費 867千円</p> <p style="padding-left: 20px;">学校給食費 23,736千円</p> <p style="padding-left: 20px;"><u>通学費 53千円</u></p> <p style="padding-left: 40px;">計 43,889千円</p>			